

No.	10-2-14	場所	駒ヶ根市上割李平	次世代への継承キーワード	災害現象理解
名称	①上割李平の惨状 ②土砂に埋まった繭			河川	新宮川
災害現象	家屋の被災			支流	
補足事項					

概要

上流でがけ崩れが約390ヶ所で発生し、土砂が新宮川に一気に流れ込んだ。竜東（伊那山地）では駒ヶ根市中沢新宮川、百々目木川流域一帯で、死者・行方不明5名、被災人員558名に及び人的被害と家屋や発電所の倒壊、橋の流失等の建物にも被害が生じた。

百々目木、大洞地区などでは、土石流によって60戸以上が流出全壊、農地のほとんどが失われた。

●体験談：駒ヶ根市調査員の日報より

<7月3日、駒ヶ根市の災害調査で>李平へ行くと道路は全壊してしまい、道の両側にあった田という田、畑という畑、全部が流失して青色なしというわけ、川の向う岸の明賀は**草葺の屋根が3分の2もぎとられ、柱も壁も、床板も濁流に洗い流され、家はガラン洞となり、現在尚濁流が、床下に打ちつけて、削り流しつつある。李平に古くからある3軒の下の家は、唐山川と大洞川合併の大泥流が全部屋根上から殺倒、蚕室と土蔵を倒壊流失、居宅内は全部土砂と石礫で埋めて了ったという惨状。**(略)室内には上簇の繭の棚がギッシリ立てられ見るも無惨に土砂に埋められている。

(「駒ヶ根市の災害史」p.34)

記録



上割李平の惨状



土砂に埋まった繭

出典 「駒ヶ根市の災害史」p.6、34/「駒ヶ根市の災害史」p.34

備考 概要欄の< >は編者が補足説明したものです。

No.	10-2-14	場所	駒ヶ根市上割李平	緯度	35.720315
-----	---------	----	----------	----	-----------

名称	①上割李平の惨状 ②土砂に埋まった繭			経度	138.031282
----	--------------------	--	--	----	------------

地図 広域図



地図 詳細図



備考 上記地図に表示されている、黄色の区域は「土砂災害警戒区域」（通称：イエローゾーン）といい、土砂災害のおそれがある区域を指します。また、赤色の区域は、「土砂災害特別警戒区域」（通称：レッドゾーン）といい、土砂災害警戒区域のうち、建築物に損壊が生じ、住民に著しい危害が生じるおそれがある区域を指します。